

2015年
クイーン倶楽部だより **5** 月号
第147号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail eco-net@nekonet.ne.jp



今回の播種前研修会には総勢70名ほどの生産者が集合。コシヒカリ作りはプロの生産者も、山田錦はまだまだ初心者。真剣に先生の話聞いていました。

新潟県の“酒米・山田錦”の
高品質化を目指します!

新潟県山田錦協議会が発足

春作業開始前の3月下旬に、播種前研修会を開催しました。

今回、県内の別団体「山田錦栽培研究会」と共同で会を設立することになり、新たに「新潟県山田錦協議会」としてスタートすることになりました。

その後、以前からご指導いただいていた淡路先生から、今年の作付の注意点や要点の講義をいただきました。新潟は土地が肥沃で硬質米の山田錦が育ちにくい地質です。そこで田んぼに植え付ける本数を減らしたり、収量よりも品質を重んじるように、などアドバイスがありました。

本格的な山田錦の栽培は今年で2年目、昨年よりも“いいコメ”を目指したいと思います!

田植に向けて準備中!



5月の田植えに向けて、代掻きが始まっています。今年の天候はどうなるかなど心配は尽きませんが、今年も美味しいお米をお届けできるようがんばります!

ドクトラ "N" の 私にも一言言わせて

その1



中村 信也(なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

※ドクトラ…フランス語で博士の意味

ドローンの行き着くところ

小型ヘリコプター型無人機(ドローン)が平成27年4月22日に首相官邸に落下し人々を驚かせました。そのドローンとは直径約50センチのヘリコプターですが、おもちゃとしか皆は思っていないのではありませんか。

首相官邸の真上に飛び、そこで落下させるという能力があり、しかもセシウム入り容器と小型カメラまで装備されていましたので高性能偵察機なのです。

私が思うに、犯人は「俺はここまでやれるぞ」という挑戦型の愉快犯と推測しますが、もっとしっかり警備しろよ、という忠告型犯人にもみえます。丁度、竹中半兵衛が岐阜城を落としたようなものです。

ドローンはロボットです。ヒト型でない確固としたロボットです。ロボットは案内、介護、危険作業などの平和利用しか記事になりませんが、皆には正義の味方しか映りませんが、実はドドロドロした危険な存在です。

ロボット開発の究極目的は軍隊用それも兵士を作ることでしょう。やがては戦場の第一線はヒトでなく、ロボット同士がバトルし合うこととなります。強力な軍隊ロボットを有する者が、世界を征服するという漫画チックな世界になるわけです。

今回のドローン事件は偵察、攻撃能力があることを見せてつけています。もはや遊び道具でないことを示しています。

今後の対策は、ロボット所有、利用、研究を法的に定めることでしょう。現在のようにドローンを数万円で、無名無許可で買えること自体が信じられないことです。

日本がいくら兵士づくりを禁じて、世界は軍事化に進行します。対策は世界レベルにきています。